

自律神経

■自律神経は個体の生命維持のために必要な身体の諸機能の調節＝（ ）を無意識的に行う。

■自律神経系は交感神経系と副交感神経系からなり、両者は基本的には（ ）して働く。

■副交感神経は（ ）、（ ）からおこるので（ ）系と呼ばれる。

■交感神経は（ ）、（ ）からおこるので（ ）系と呼ばれる。

■自律神経は、（ ）線維と（ ）線維の2つのニューロンから構成される。2つのニューロンの接合部が（ ）である。

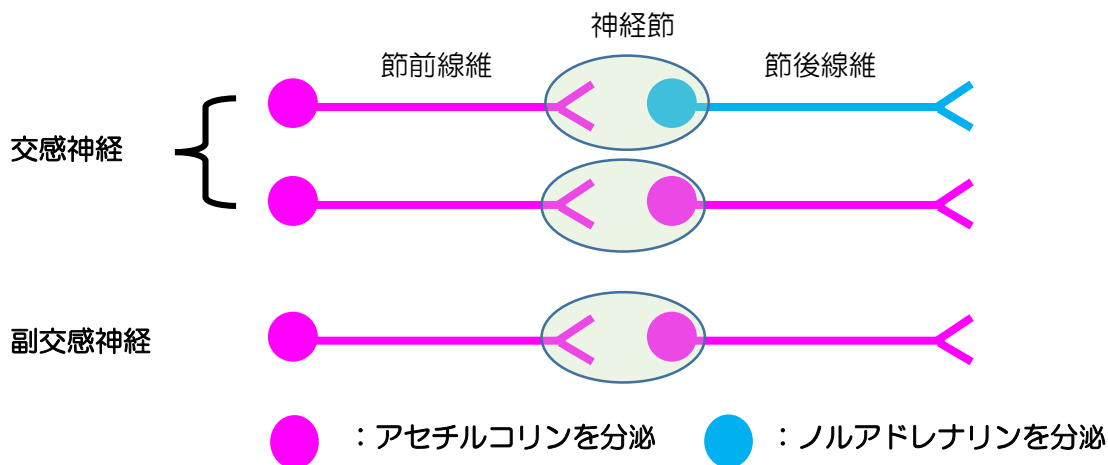
■交感神経の幹神経節は、脊柱管の両側にある（ ）である。

■副交感神経の神経節は、臓器（効果器）のすぐ近くにあるので、副交感神経の節後線維は交感神経の節後線維に比べて一般的に（ ）。

■交感神経、副交感神経とも、節前線維末端からは（ ）が放出される。

■交感神経の節後線維からの多くは（ ）が放出されるが、例外として、汗腺、立毛筋、骨格筋の血管では（ ）が放出される。

■副交感神経の節後線維からは、（ ）が放出される。



■（ ）、（ ）、皮膚と骨格筋の血管では（ ）作動性の交感神経の支配のみである。

■唾液腺に関しては、粘液性の唾液(少量)は（ ）神経によって、漿液性の唾液(多量)は（ ）神経によって分泌が促進される。

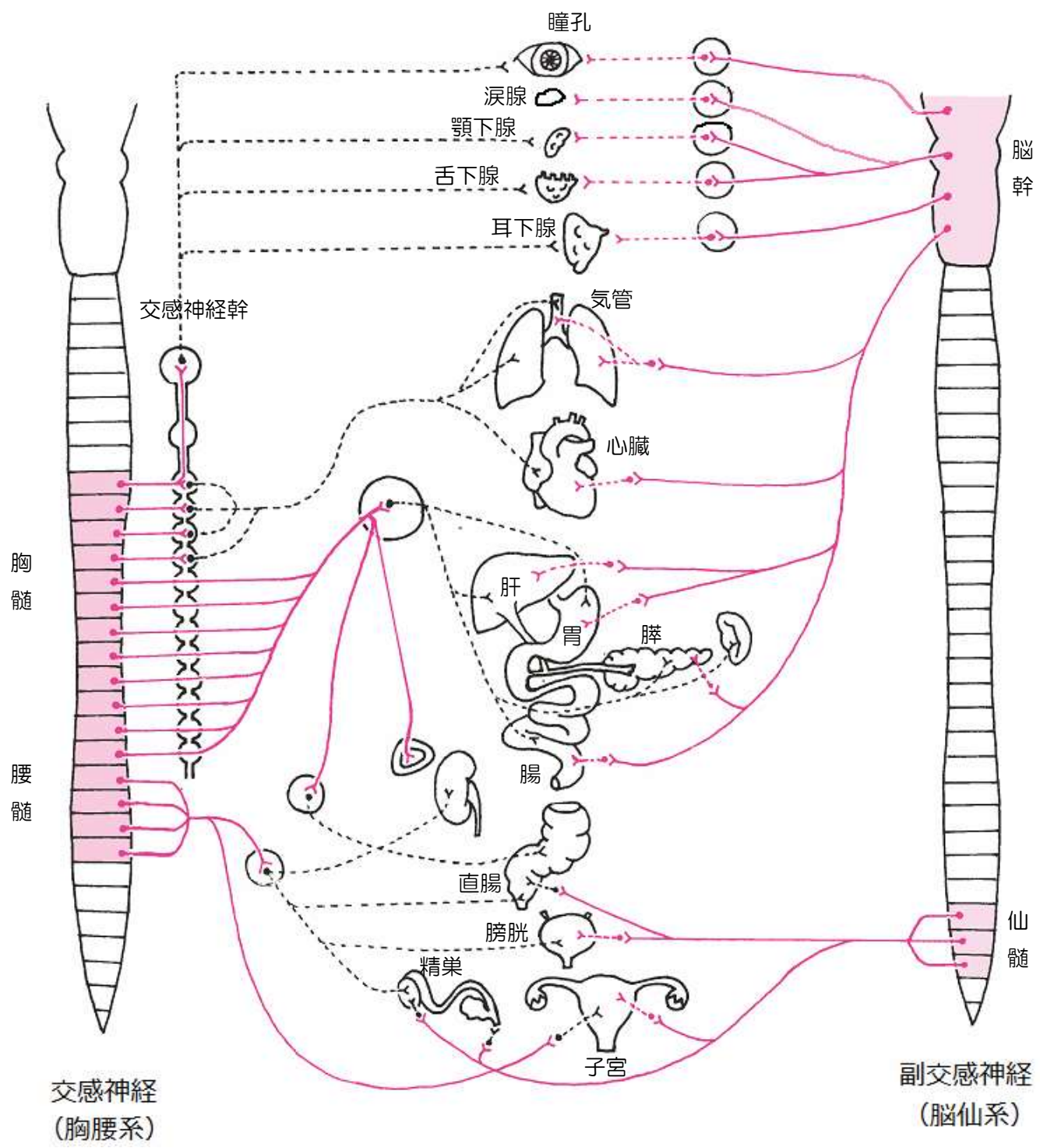
■交感神経は、心拍数の（ ）、気管の（ ）、皮膚血管の（ ）、立毛筋の（ ）、瞳孔の（ ）、グリコーゲンの（ ）に作用する。

■副交感神経は、心拍数の（ ）、気管の（ ）、多量の唾液分泌の（ ）、胃腸運動の（ ）、排尿筋の（ ）、内尿道括約筋の（ ）、内肛門括約筋の（ ）、瞳孔の（ ）、グリコーゲンの（ ）に作用しインスリン分泌が（ ）される。

■血管運動中枢・発汗中枢・立毛中枢は（ ）、心臓促進中枢は（ ）、脊髄排尿中枢および脊髄排便中枢は（ ）レベルにある。

■迷走神経の核は延髄にあり、（ ）中枢・（ ）中枢・（ ）中枢・（ ）中枢を受け持つ。

■視床下部は自律神経系の最初中枢で、（ ）、（ ）・（ ）中枢がある。



自律神経

■自律神経は個体の生命維持のために必要な身体の諸機能の調節＝（ **ホメオスタシスの維持** ）を無意識的に行う。

■自律神経系は交感神経系と副交感神経系からなり、両者は基本的には（ **拮抗** ）して働く。

■副交感神経は（ **脳幹** ）、（ **仙髄** ）からおこるので（ **脳仙** ）系と呼ばれる。

■交感神経は（ **胸髄** ）、（ **腰髄** ）からおこるので（ **胸腰** ）系と呼ばれる。

■自律神経は、（ **節前** ）線維と（ **節後** ）線維の2つのニューロンから構成される。2つのニューロンの接合部が（ **神経節** ）である。

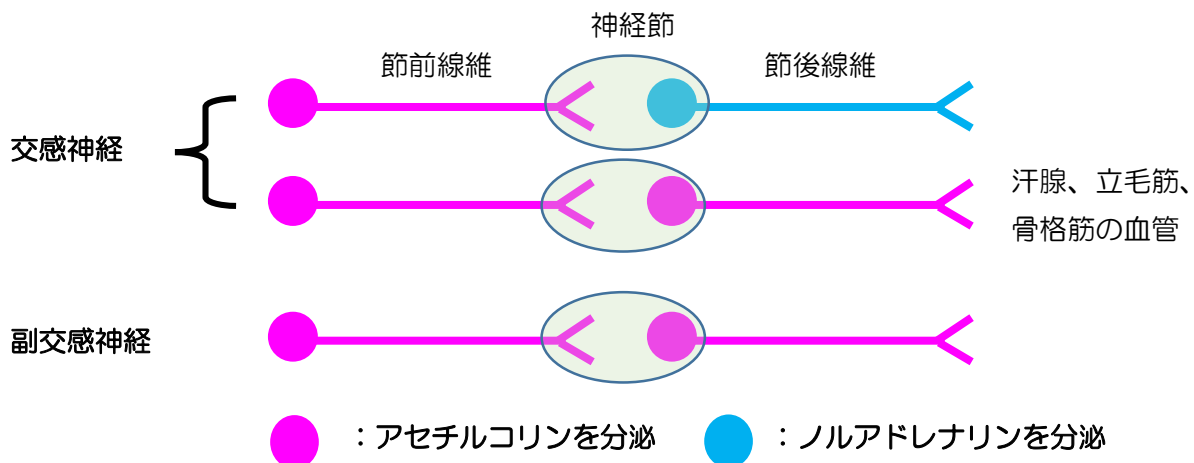
■交感神経の幹神経節は、脊柱管の両側にある（ **交感神経幹** ）である。

■副交感神経の神経節は、臓器（効果器）のすぐ近くにあるので、副交感神経の節後線維は交感神経の節後線維に比べて一般的に（ **短い** ）。

■交感神経、副交感神経とも、節前線維末端からは（ **アセチルコリン** ）が放出される。

■交感神経の節後線維からの多くは（ **ノルアドレナリン** ）が放出されるが、例外として、汗腺、立毛筋、骨格筋の血管では（ **アセチルコリン** ）が放出される。

■副交感神経の節後線維からは、（ **アセチルコリン** ）が放出される。



■（ **汗腺** ）、（ **立毛筋** ）、皮膚と骨格筋の血管では（ **コリン** ）作動性の交感神経の支配のみである。

■唾液腺に関しては、粘液性の唾液（少量）は（ **交感** ）神経によって、漿液性の唾液（多量）は（ **副交感** ）神経によって分泌が促進される。

■交感神経は、心拍数の（ **増加** ）、気管の（ **拡張** ）、皮膚血管の（ **収縮** ）、立毛筋の（ **収縮** ）、瞳孔の（ **拡大** ）、グリコーゲンの（ **分解** ）に作用する。

■副交感神経は、心拍数の（ **減少** ）、気管の（ **収縮** ）、多量の唾液分泌の（ **増加** ）、胃腸運動の（ **促進** ）、排尿筋の（ **収縮** ）、内尿道括約筋の（ **弛緩** ）、内肛門括約筋の（ **弛緩** ）、瞳孔の（ **縮小** ）、インスリン分泌が（ **促進** ）され、グリコーゲンの（ **合成・貯蔵** ）に作用する。

■血管運動中枢・発汗中枢・立毛中枢は（ **C8~L2** ）、心臓促進中枢は（ **T1~4** ）、脊髄排尿中枢および脊髄排便中枢は（ **S2~4** ）レベルにある。

■迷走神経の核は延髄にあり、（ **呼吸** ）中枢・（ **血管運動** ）中枢・（ **心臓抑制** ）中枢・（ **嚥下** ）中枢を受け持つ。

■視床下部は自律神経系の最初中枢で、（ **体温調節** ）、（ **摂食** ）・（ **飲水** ）中枢がある。

